

CI605-H

Visual Studio による
SharePoint アドイン開発

Illuminate Japan

はじめに	1
1. SharePoint 開発概要	2
1.1 SharePoint サイト構築方法について	3
1.2 SharePoint API について.....	5
■ サーバー API	5
■ クライアント API	6
1.3 SharePoint 開発の種類.....	9
■ SharePoint アドイン (SharePoint Add-ins)	9
■ ソリューション.....	10
■ 実装方法の選択	11
1.4 開発環境	12
2. オブジェクト モデル利用 基本.....	13
2.1 クライアント API の利用.....	14
<u>Lab 1. JavaScript と Web パーツによるカスタマイズ</u>	<u>15</u>
① サイト プロパティの取得	15
② 特定のサイト プロパティの取得	16
③ リスト アイテムの一覧取得と表示	17
④ リスト アイテムの作成	20
⑤ リスト アイテムのクエリ取得と件数表示	22
<u>Lab 2. REST サービスの利用</u>	<u>24</u>
3. アドイン (SharePoint Add-ins) の利用と管理.....	26
3.1 SharePoint アドインの展開と利用	27
3.2 SharePoint Server でアドインを利用するための構成	28
3.3 アドイン導入の許可設定	34
3.4 ストアからのアドイン導入と管理	36
3.5 社内設置カタログによるアドインの展開	41
4. アドイン (SharePoint Add-ins) 開発	46
4.1 SharePoint アドイン開発 基本	47
4.2 開発者サイトの準備.....	49
4.3 アドイン開発時に決定しておくべきこと	52
■ 画面の種類.....	52
■ ホスティング方法	54
■ 提供方法	56

4.4	アドインに対するアクセス許可	57
Lab 3.	<u>SharePoint アドイン開発 基礎</u>	58
4.5	アドインにおけるデータの格納先	82
Lab 4.	<u>リストを含む SharePoint ホスト型アドイン</u>	83
4.6	デザイン ガイドラインと Chrome コントロール	90
Lab 5.	<u>Chrome コントロールの利用</u>	91
4.7	アドイン認証について	95
■	SharePoint ホスト型	95
■	プロバイダー ホスト型 : JavaScript を利用する場合	96
■	プロバイダー ホスト型 : サーバー サイド コードを利用する場合	97
Lab 6.	<u>クロス ドメイン コールの利用</u>	99
Lab 7.	<u>プロバイダー ホスト型 (.NET COM 利用) におけるサーバー間認証</u>	107
Lab 8.	<u>高信頼プロバイダー ホスト型アドイン 開発</u>	117
[参考]	リスト アイテムへのさまざまな処理	123
4.8	アドインの展開/パッケージ化	127
Lab 9.	<u>プロバイダー ホスト型アドインのパッケージ化</u>	129

Appendix ① SharePoint での PowerShell 利用	135
I. SharePoint での PowerShell 利用	136
■ SharePoint Server での PowerShell	136
■ SharePoint Online 全体管理を行う PowerShell	138
■ クライアント サイドでの PowerShell	138
[参考 Lab] SharePoint Server での PowerShell 利用	139
① サイト コレクション内のサイト一覧	139
② サイト内の全リスト、およびアイテム数を一覧し、CSV に出力	139
③ ライブラリ容量を一覧する PowerShell スクリプト	140
④ 指定したサイトのアクセス権を確認	141
⑤ 指定した SharePoint グループの内容を確認	141
⑥ アクセス権を一覧する PowerShell スクリプト	142
⑦ リストに CSV データをインポート	145
[参考 Lab] SharePoint Online 管理シエルの利用	146
サイト コレクション一覧と利用サイズの出力	146
[参考 Lab] SharePoint クライアント コンポーネントの利用	147
① サイト内の全リスト、およびアイテム数を一覧し、CSV に出力	147
② リストに CSV データをインポート	148
 Appendix ② Microsoft Graph API の利用	 150
II. Microsoft Graph API とは	151
III. Microsoft Graph API フロー	154
[参考 Lab] JavaScript による Microsoft Graph API の利用	156
Step 1 : Azure AD へのアプリ登録	156
Step 2 : JavaScript サンプル コード	162
 Appendix ③ ソリューション開発	 165
IV. ソリューション開発 基本	166
[参考 Lab] フィールド型の開発	169
[参考 Lab] 全体管理に対する機能拡張	179
V. ソリューションの展開と利用	194

はじめに

SharePoint 開発者が知るべき基本知識、および SharePoint アドイン (SharePoint Add-ins、SharePoint アプリ) の開発手法をご理解いただけます。

■ 本テキストの対象製品

このテキストの対象となる製品は下記のとおりです。

- SharePoint Server 2016/2013
- Office 365 で提供される SharePoint Online

■ 本テキスト内の手順を行うために必要な開発環境

このテキスト内の手順を行うためには、次のソフトウェアがインストールされた開発環境が必要です。

- 開発ツール : Visual Studio がインストールされた開発環境
- SharePoint 環境
Office 365 (SharePoint Online)、SharePoint Server 2016、SharePoint Server 2013 のいずれか

■ 前提条件

本テキストの内容、手順、解説はすべて、下記をご存じの方を対象としています。

- SharePoint サイトの管理者レベルの知識、および基本操作
(サイト作成やリスト、ライブラリの設定変更、ページの作成、編集、バージョン管理、アクセス権変更などの基本操作に関しては手順内に詳細を記載していません)
- JavaScript、HTML、CSS を理解されている方
(一部内容には C# を利用したコーディング内容を含みます)

